

校訓

自治 対話 創造

本部は古来尚武の地である。そこで、ショウブに音の通う菖蒲の花と葉を以って本部の「本」を構成し、それを外枠とする。その中央に「髙」を配置した。中央の花弁はペンを図案化し、「髙」の下部の紋様は「本」の字の一部を成している。これは、地下に根を張り、空高く髙揚する学への祈りを表象したものである。 (昭和 42 年 1 月 20 日制定 図案・福地蔡勇校長)

